

部活動などの活躍

《税の標語》

荒川間税会優秀賞
〇〇 〇〇くん(1-2)

消費税
あなたも一人の
納税者



《バスケットボール部》

荒川区バスケットボール新人大会 **第2位**
1・2年生の皆さん

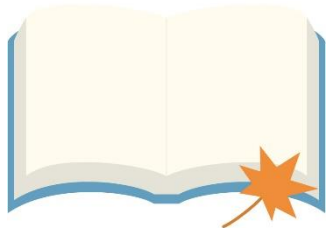
荒川区バスケットボール新人大会 **ベスト5**
〇〇 〇〇さん(2-3)



《国語科》

荒川区読書感想文コンクール **佳作**

〇〇 〇〇〇さん(3-2)
作品名:「きみの友だちと私」~きみの友だちより~
〇〇 〇〇さん(2-3)
作品名:「本当の友だち」~きみの友だちより~
〇〇 〇〇さん(1-5)
作品名:「幸せ」~また、同じ夢を見ていたより~



南千住マイスターのコーナー

この事件以降、倒幕の動きは本格化します。歴史を大きく変えた人々が、この南千住の地に眠っています。

長い期間、京都や江戸に潜伏し、綿密に計画を立て、決行した。決行の日(安政七年(1860年)三月三日、この日はいわゆる難祭の日)の祝い、江戸には諸侯は全員江戸城に登城することになっていました。襲撃者たちは、大名駕籠見物を装い、井伊大老の駕籠を待ちました。この日は朝から雪が降り、井伊大老の警備の者も刀に雪除けの袋をかぶせていました。このことが、襲撃から井伊大老を守れなかった一因ともいわれています。

多くの見物人の前で事は起りました。水戸浪士の一人が駕籠をめぐって発砲し、それを合図に井伊大老の駕籠のある彦根藩の行列に斬りかかりました。彦根藩士らの反撃も及ばず、井伊大老は駕籠から引きずり出され、斬首されました。このできごとは凄惨を極め、降った雪は血で真っ赤に染まったといわれます。

襲撃をした浪士らは、深手を負った者は切腹、逃げた者も自首、または捕らえられ、断罪に処されました。金子孫二郎は襲撃には加わっていませんでしたが、間もなく捕らえられ、やはり断罪に処されました。

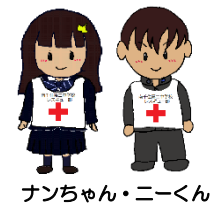
この事件以降、倒幕の動きは本格化します。歴史を大きく変えた人々が、この南千住の地に眠っています。

南千住と歴史上の人物 その6 『桜田門外の変 金子孫二郎他』

回向院 水戸藩士らの墓



学校だより
令和二年12月
第111号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

笑顔で新年を!

校長 松田 公好

令和2年もあとわずかととなり、1年を振り返る時期となりました。言うまでもなく今年は新型コロナウイルスにより世界中で今まで経験したことのない困難な状況が生まれ、人類にとって前代未聞の大変な1年となりました。しかし、今年だけが特別なわけではないのかもしれませんが。まさに予測困難な時代となったことを実感する出来事でもありました。

このような時代を生きていくにはやはり『たくましさ』が必要です。私はこのたくましさを手に入れるためにも『笑顔』を推奨しています。学校だより7・8月号からシリーズで『笑顔がもたらす効果』についてお伝えしてきました。本号ではその最終回として、巻頭言で笑顔がもたらす効果を締めくくりたいと思います。

私たちは素敵な笑顔の人を見たとき、「あの人は、きっと幸せだからあんなに素敵な笑顔なのだろう」と思います。しかし、ある専門家はこう言います。「それは逆で、**笑顔が素敵だから幸せになっているのだ**」と、なぜなら「デュシェンヌ・スマイル(ホンモノの笑顔)ができる人は、気持ちがポジティブなのでポジティブな発言が多い。さらに笑うことで脳がオキシトシンを分泌し、自分だけでなく相手も幸福度が上がる。そうすると、信頼関係を築いたり、助け合あうことが円滑になる。こうした要素が絡み合って、自分に幸せが返ってくるのだ」と…まさに「**笑う門には福来る**」のことわざどおり、ホンモノの笑顔が幸せを呼び込んでいると言うのです。

1年間のスタートを切るお正月にみんなが笑顔でいることにはとても深い意義があるのだと感じました。この時期のテレビ番組にお笑いが多いのもうなずけます。ここで今までのおさらいです。

- 笑顔は免疫力を高めてくれます。
- 笑顔はポジティブな気持ちにさせてくれます。
- 笑顔は人との関係を良くしてくれます。
- 笑顔は伝染します。
- そして笑顔は幸せを呼び込んでくれます。

笑顔で新年を迎え、コロナ危機を乗り越えていきましょう。



1年生 校外学習(南千住地域学習)

秋晴れに恵まれた12月1日(火)の午後、1年生が南千住地域を巡る校外学習が実施されました。この日を目指して、1年生は各クラス5班に分かれ、タブレットや南千住検定の本などを使って南千住地域の史跡や名所を調べ、およそ2時間の見学コースを計画しました。それぞれの班で話し合いを重ね、決めたコースは実に多彩。南千住二中を出発して、素盞雄神社、円通寺、回向院、延命寺、浄閑寺、日慶寺、日枝神社などの寺社・仏閣を中心に回るコースや、コツ通りを通過して、下野黒羽藩主大関氏の下屋敷の跡地、日本ではじめての毛織物工場の千住製絨所を取り巻いていた赤レンガ塀やその初代所長となった井上省三の胸像、隅田川に最初に架けられた千住大橋などの史跡・名所を中心に回るコース、また、日光街道沿いの寺院を回るコースなど、目的も時間配分もルートもよくまとめられたものばかり。晩秋の街は紅葉で美しく彩られ、街歩きには絶好の季節でした。各班写真撮影をしたり、各地にある荒川区の名所・史跡を紹介する案内板の説明を見たり、メモを取るなどして、それぞれが協力しあい、南千住の街を歩きながら学ぶことができました。これまで何気なく毎日通り過ぎていた景色が、その長い歴史や文化などに触れて特別に輝くものになり、南千住の街がさらに好きになり、地域に対する誇りを高めることができました。

また、班行動では、班員ひとりひとりが写真や記録などの役割を持ち、**時間とマナーを守り、協力しあって楽しく実りある校外学習**となりました。全班ほぼ時間通りに見学を終え、どの班も遅れることなく帰校。その後行われた事後学習では、班ごとに写真や集めた資料を使い、ひとりか所を選んで、調べた寺社や史跡をタブレットでまとめました。141人が実際に見て調べたレポートは、4階の1学年フロアに掲示される予定になっています。自分たちの力だけで目標に向かって計画を立て実行する機会が増えてくる1年生。これからの成長が楽しみです。



事前学習の様子

浄閑寺をタブレットで撮影しながら見学。

素盞雄神社の境内で先生のチェックを受けました。

神社ではまず参拝！

おそと小僧や顔の言三郎の像を見学した後、お参りしました。

小塚原回向院では、解体新書について調べました。

熱心に写真やメモをとる1年生の皆さん

素盞雄神社では班ごとに記念撮影

検定などの活躍

《実用英語技能検定》

2級
準2級

3級

《実用数学技能検定》

3級

年賀状づくり

南千住二中では、荒川区社会福祉協議会の依頼を受けて、区の『みまもりネットワーク事業』に登録している一人暮らしの高齢者の方々へ年賀状をお送りする活動に協力して毎年、年賀状づくりを行っています。加えて、南千住二中の『絆ネットワーク』に登録いただいている近隣の皆さまにもお送りしています。今年は、12月15日(火)、17日(木)の2日間にわたり、1、2年生のレスキュー部15人が集まり、放課後の時間を利用して、合計90通の年賀状を書き上げました。来年の干支の丑が手描きされたものや、生徒のメッセージ入りのものなど、一枚一枚に、日頃お世話になっている皆さまへの感謝とご健勝を願う気持ちが込められています。

